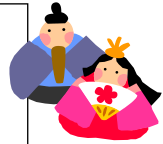




# 学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

令和2年3月2日(火)  
尼崎市立浜小学校  
校長 中根 孝介  
06-6499-1536



No.19

## 祝 文部科学大臣賞 受賞 ～すごいぞ！ 浜っ子！～



2月19日(水)に、予定を変更して臨時朝会を行いました。6年生の島銀史朗さんが、「障害のある人たちと関わる皆さんへ」という作文で、栄えある、文部科学大臣賞を受賞されたため、表彰式を行うためです。

公益財団 日本知的障害者福祉協会が募集した全国小・中学生 第6回障がい福祉ふれあい作文コンクールに全国から応募のあった2013もの作品の中から、小学生でただひとりだけに与えられる文部科学大臣賞を受賞したのです。

障害のある妹さんの家族としての思いを綴ってある、実に心に響く作文です。島さんは、小学生でありながら、これまでも、福祉施設などで働いておられる何百人もの大人の方を前にして、講演会で同様の内容のお話をしてきました。お話を聞いて、その思いに感動されて涙を流される方もたくさんおられたと聞いています。そのお話を作文コンクールの規定に合せた字数にコンパクトにまとめ上げ、応募しました。それが、今回の受賞につながったのです。

26日(水)には、受賞を記念して尼崎市教育委員会に、松本 眞教育長を表敬訪問しました。ご家族と一緒に立派な教育長室に入らせていただき、教育長からもおほめの言葉と心温まるお言葉をいただきました。

今回、たくさんの人に知っていただきたいというご家族の思いもあり、作文の全文を掲載させていただくことになりました。いつも講演会等で話される内容は、もう少し長く、さらに心を揺り動かされる内容なのですが、今回は誌面の都合もあり、コンクールに応募した作文を記載させていただきました。長文になりますが、是非、子どもさんと一緒に読んでいただければと思います。

今年も、浜っ子は、いろいろなところで活躍しています。朝会の時には、頑張っている浜っ子のみんなが、よく表彰されます。絵画であったり、書道であったりといろいろとあります。今回の朝会では、2月8日に行われた駅伝大会の表彰も行いました。

これからも、がんばる浜っ子全員への応援をよろしく願いいたします。

### 【文部科学大臣賞】

障害のある人たちと関わる皆さんへ

尼崎市立浜小学校  
島 銀史朗

僕の妹には知的障害があります。いつも楽しそうに、顔を見て笑いかけてきて、人を笑顔にしようとします。妹は家族が大好きで、家族の誰かがいないと寂しそうにします。妹にとっての僕の順位は3番目で父や母がいない時には頼りにされます。たまに馬乗りになつて叩かれることもあります。相手をすると喜ぶので可愛いです。イライラしていても一人になると落ち着いたり、良いことも悪いことも、見て覚えてたりできます。

妹は言葉が話せません。みんなに話しかけられても何を言っているのかが伝わらなくて、無視されることがあります。障害について知らない子たちからバカにされることがあります。妹はバカにされても一緒に笑って笑っています。また、誰の物でどれくらい大切なものかが分からないので、他人の物

を勝手に使つて嫌がられることがあります。僕も教科書やノートに落書きをされたり、宿題や大事なマンガをやぶられたりすることがありました。人が嫌がることを分かってほしいです。でも、本当に困っているのは妹の方だと思います。イライラして暴れて表現すると叱られるので、かわいそうだと思います。言葉だけでは意味が分からないから怒っているのだと思います。表現が分からず、思い通りにいかないことが沢山あると思います。言い返したいことがあつても言い返せません。楽しくて大きい声を出しても注意されることがあり、かわいそうです。

妹が思いを伝えられたら嬉しいだろうなと思います。特別扱いされなければ嬉しいと思います。頼れる人が周りに沢山いれば安心できると思います。テレビの録画、卵焼きを作る、僕なら自分のタイミングでできます。妹は人の手を借りてしか今はできないので、自分でできたら幸せだろうと思います。

僕は妹が大好きです。誰よりも早くご飯を食べること、みんなが笑つてい

ると嬉しそうにすること、僕が勉強をすると自分もノートを出してきて一緒に勉強すること、はじめて会った人に、家族のことを一生懸命に紹介しようとする、僕のお腹の上でジャンプをして大喜びしている妹、全部が可愛くて大好きです。だから、大きなケガをしないでずっと健康でいてほしいです。思っていることが伝えられるようになってほしいです。自由に生きてほしいです。ビクビクしないで生きてほしいです。嫌われないでいてほしいです。一人ぼっちにならないでほしいです。そして、もっと理解者が増えてほしいです。

最後に、妹や障害のある人たちと関わる皆さんにお願いがあります。これはダメと否定しないでください。注意するのではなく、何をすれば良いかを教えてください。呼びかけられたら返事をしてください。障害があるからできないと決めつけないでください。これからみんなのことをよろしく願います。

